

## おわりに

あるTV番組で赤ちゃんの能力の不思議さについて放映がありました。二つ紹介します。

赤ちゃんに、TVで女性が外国語を話す場面を1回見せ、間隔を置いて再度TVで同じ場面を見せたとき、TVに出演した女性が実際に赤ちゃんの前に来て話したときとでは、明らかに後者の方が赤ちゃんの興味・関心が高かった。

同じ月齢ではあるが、すでに掴まり立ちできる子、はいはいできる子、寝返りがやっとならできる子など発達段階に差のある赤ちゃん数人が親の前で遊んでいる。赤ちゃんは、それぞれのもっている力を存分に発揮して遊んでいる。寝返りの子の親は、周りの子より発達が遅くないか少々心配であった。しかし、驚くことに、二日後に、その子が、腕と足を使ってはいはいに挑戦し、上手にできるようになった。

同年齢同士のかかわりによってその子の能力が引き出されたと考えられる。

この二つの事例は、赤ちゃんであっても、直接的にかかわることや、同年齢同士のかかわりの大切さを教えています。

次は、本園での4歳児同士のある日の一コマです。

降園時の活動に入る前、手洗いのため並んでいたA男に、すでに手洗いが終わったB子が、

B子「連絡帳をカバンに入れてあげるね」

A男「いいよ。自分でする」

B子「いいよ。してあげるよ」

A男「いいって。自分でするから」

この後、B子が連絡帳をカバンに入れてあげたかは分かりませんが、この場面からB子の友だちを思いやる心やA男の自分の気持ちをはっきり言う態度などがうかがえます。二人とも、人とのかかわりの中で、心や態度が育ちつつあるのではないかと思います。

私たちは、子どもたちの生まれながらにしてもっている自分らしさを、他とよりよくかかわることさらに自分らしさの幅を広げていきたいという思いから、この研究テーマを掲げ、研究をスタートいたしました。

本年度が1年次です。皆様の御批正と御指導をいただきながら、自分らしさを発揮する子どもの育成に努めてまいります。

平成20年2月9日

副園長 石原 義仁

### 研究同人

園長	今林 俊一	副園長	石原 義仁
教諭	池島 加那子	教諭	内田 真紀
教諭	味園 佳奈	講師	成川 梨恵
講師	坂元 久美子	講師	鳩宿 恵理香
講師	山口 尚子		
(養護)			

### 旧同人

園長	西種子田 弘芳	教諭	永吉 由紀子
----	---------	----	--------